

様式一 再生資源利用計画書 - 建設資材搬入工事に用 -

表面

1 工事概要

発注機関	発注機関コード*1	発注担当者チェック欄	
		担当者	TEL ( )

請負会社名	請負会社コード*2		
建設業許可又は解体工事業登録	大臣 知事	号	記入年月日 平成 年 月 日
会社所在地	TEL	( )	責任者
	FAX	( )	調査表記入者

工事名	工事種別コード*3	請負金額	千 百 十 千 百 十 万 1万円未満四捨五入 0,000円(税込み)
工事施行場所	都道府県 市区町村 地内	工期	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで
工事概要等	施行条件の内容(再資源の利用に関する特記事項等)		

左記の金額のうち特定建設資材廃棄物の処理費用

千 百 十 千 百 十 万 1万円未満四捨五入  
0,000円(税込み)

建築・解体工事のみ  
右欄に記入してください

建築面積	百 十 万 万 千 百 十 一	階数	地上 階
延床面積	m <sup>2</sup>		地下 階
構造	1 鉄骨鉄筋コンクリート造	2 鉄筋コンクリート造	3 鉄骨造
(数字に○をつける)	4 コンクリートブロック造	5 木造	6 その他
用途	1 居住専用	2 居住産業併用	3 事務所
(数字に○をつける)	4 店舗	5 工場・作業所	6 倉庫
	7 学校	8 病院診療所	9 その他

※解体工事については、建築面積を記入いただかなくても結構です。

2 建設資材利用計画

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

建設資材(新材を含む)				再生資材の供給源(再生資材を利用した場合に記入してください)							再生資源利用率
分類	小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	使用量(A)	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元種類コード*7	施行条件内容コード*8	再生資源供給元場所住所住所コード*4	再生資材の名称コード*9	再生資材利用量(B)	B/A×100
特定建設資材	コンクリート			トン						トン	%
				トン						トン	%
				トン						トン	%
		合計		トン						トン	%
特定建設資材	コンクリート及び鉄筋から成る建設資材			トン						トン	%
				トン						トン	%
				トン						トン	%
		合計		トン						トン	%
特定建設資材	木材			トン						トン	%
				トン						トン	%
				トン						トン	%
		合計		トン						トン	%
特定建設資材	アスファルト混合物			トン						トン	%
				トン						トン	%
				トン						トン	%
		合計		トン						トン	%
その他建設資材	土砂			締めm <sup>3</sup>						締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>						締めm <sup>3</sup>	%
				締めm <sup>3</sup>						締めm <sup>3</sup>	%
		合計		締めm <sup>3</sup>						締めm <sup>3</sup>	%
その他建設資材	碎石			m <sup>3</sup>						トン	%
				m <sup>3</sup>						トン	%
				m <sup>3</sup>						トン	%
		合計		m <sup>3</sup>						トン	%
その他建設資材	その他(再生資材のみ記入)			トン						トン	%
				トン						トン	%
				トン						トン	%
		合計		トン						トン	%

- コード\*5
- コンクリートについて  
1生コン 2無筋コンクリート二次製品 3その他  
コンクリート及び鉄筋から成る建設資材について  
1有筋コンクリート二次製品 2その他  
アスファルト混合物について  
1粗粒度アスコン 2蜜粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む。)  
3細粒度アスコン 4アスファルトモルタル 5加熱アスファルト安定処理路盤材  
土砂について  
1第一種建設発生土 2第二種建設発生土 3第三種建設発生土  
4第四種建設発生土 5浚渫土 6土質改良土 7建設汚泥改良土  
8再生コンクリート砂 9山砂、山土の購入土、採取土  
碎石について  
1クラッシャー 2粒度調整碎石 3鉱さい 4単粒度碎石 5栗石、割栗石 6その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

- コード\*6
- アスファルト混合物について  
1表層 2基層 3上層路盤 4歩道  
5その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)  
土砂について  
1道路路床 2路床 3河川築堤  
4構造物等の裏込め材、埋戻用  
5宅地造成用 6水面埋立用 7ほ場整備(農地整理)  
8その他(具体的に記入)  
碎石について  
1舗装の下層路盤材 2舗装の上層路盤材  
3構造物の裏込め材、埋戻材 4その他(具体的に記入)  
その他について(利用用途を具体的に記入)

- コード\*7
- 再生資材の供給元について  
1現場内利用  
2他の工事現場(陸上)  
3他の工事現場(海上)  
4再資源化施設  
5ストックヤード  
6その他

- コード\*8
- 施行条件について  
1再生材の利用の指示あり  
2再生材の利用の指示なし

- コード\*9
- コンクリートについて  
1再生生コン 2再生無筋コンクリート二次製品 3その他  
コンクリート及び鉄筋から成る建設資材について  
1再生有筋コンクリート二次製品 2その他  
アスファルト混合物について  
1再生粗粒度アスコン 2再生蜜粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む。)  
2再生細粒度アスコン 4再生アスファルトモルタル 5再生加熱アスファルト安定処理路盤材  
土砂について  
1第一種建設発生土 2第二種建設発生土 3第三種建設発生土 4第四種建設発生土  
5浚渫土 6土質改良土 7建設汚泥改良土 8再生コンクリート砂  
9山砂、山土の購入土、採取土  
碎石について  
1再生クラッシャー 2再生粒度調整碎石 3鉱さい 4その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材使用量について  
アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)のなかに、新材が混入している場合であっても、新材部分混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。

裏面も記入ください

様式一2 再生資源利用促進計画書(実施書) ー建設副産物搬出工事用ー

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施行する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成してください。

裏面

1 工事概要 表面に必ずご記入ください。

コード\*14(コード\*13で「7内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについてご記入ください。

1 山砂砂利等採取跡地 2 処分場の覆土 3 溜池等の水面埋立 4 谷地埋立 5 農地受入 6 その他

2 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	①発生量 (掘削等) =②+③+④	現場内利用・減量			現場外搬出について										再生資源利用促進率 (2)+(3)+(5) ① %			
		用途 コード*10	②利用量 うち現場内改良分	減量法 コード*11 ③減量化量	搬出先名称	区分 どちらかに○をつけてください。	施行条件 の内容 コード*12	搬出先場所	住所コード*4	運搬距離 千 百 十 ー	搬出先の種類 コード*13	受入地の用途 コード*14	④現場外搬出量 うち現場内改良分			⑤再生資源利用促進量 (注2)		
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	建設発生木材 (木材が廃棄物になったもの)	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
建設廃棄物	建設発生木材 (伐木材、障根材など)	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	建設汚泥	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	建設混合廃棄物	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	金属くず	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	廃プラスチック	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	鉄くず	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	アスベスト (飛散方)	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	その他分別された廃棄物	トン	トン	トン	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	トン	%
	第一種建設発生土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	地山m <sup>3</sup>	%
	第二種建設発生土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	地山m <sup>3</sup>	%
第三種建設発生土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	地山m <sup>3</sup>	%	
第四種建設発生土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	地山m <sup>3</sup>	%	
浚渫土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	搬出先1	公共 民間						km			トン	トン	地山m <sup>3</sup>	%	
合計	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>											地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	%	

コード\*10  
1 路盤材 2 裏込め材  
3 埋戻材  
4 その他(具体的に記入)

コード\*11  
1 焼却 2 脱水  
3 天火乾燥  
4 その他(具体的に記入)

コード\*12  
施行条件について  
1 A指定処分(発生時に指定されたもの)  
2 B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分がされたもの)  
3 自由処分

コード\*13  
再生資源利用促進(再生利用された場合)  
1 他の工事現場(内陸:公共・民間を含む。)  
2 再資源化施設(土質改良プラントを含む。)  
3 有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合)  
4 建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)  
5 海面埋立事業(海岸、海浜事業を含む。)

最終処分場・その他(処分された場合)  
6 最終処分場(海面処分場)  
7 最終処分場(内陸処分場)  
8 建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)  
9 焼却処分・最終処分場へ持ち込むための中間処理施設  
10 その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量④のうち、搬出先の種類(コード\*13)が1~5の合計